

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、-：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	・8月、9月も引き続き県外観光客の予約が好調である。
	やや良くなる	百貨店（担当者）	・お中元と衣料の動向が良い。ギフトに関しては旧盆のズレがあるが、期間を通して3%前後の伸長と予測される。このまま順調にセール売上、秋物の動向が維持すれば全館にて計画値を達成できる見込みである。
		観光型ホテル（営業担当）	・8月、9月とも前年同期比より順調な予約状況である。
	変わらない	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・昨年夏から、少しずつ物販の売上減少が進んでいる。リピート率が高いだけに今後もなかなか期待できない。一人勝ちを目指した商品開発が今後の売上アップの要因になると考えている。
		スーパー（経営者）	・旧盆に向けてますます価格競争が激化する中で、売上はほぼ前年並みで推移している。このような状況は今後も続く。
		コンビニ（エリア担当）	・競合店やスーパー等の他業種の店舗数は増えることはあっても減ることはないため1店舗当りの来客数が減り、前年の売上を超えることは困難である。このしのぎ合いは当分続くため、極端な売上増は見込めない。
		コンビニ（エリア担当）	・参院選の結果に表われたように、税金への関心、また6月からの変更は、消費者に大きなインパクトを与えた。景気回復とは逆行の様子が出てくる可能性もある。
		衣料品専門店（経営者）	・ここ数か月、来客数・客単価共に前年を3、4%程減下回っている。これからも良い材料があまりみえないので、同じ傾向が続く。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・夏の観光客の増加や夏祭り等のイベントには期待ができるが、競争相手の増加とインターネット販売での価格競争があり、品質の良し悪しよりも優先する感がある。プラスもあるが不安材料も多い。
		高級レストラン（営業担当）	・ここ数か月、見込みがごとごとく外れている。現在の様子だと同じような結果が予想される可能性が高い。
観光型ホテル（商品企画担当）	・販売状況はほぼ前年並みに推移している。		
観光名所（職員）	・今年度4月から7月まで沖縄観光は前年度比で順調に伸びている。これから先も沖縄観光に大きい変動要因は見当たらず、台風の影響が無い限り、沖縄観光は順調に推移する。		
やや悪くなる	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・物価が安定しないことには地元客の増加は見込めないうえ、食材の高騰で原価を圧迫している。観光客も去年ほど動きがみられない。	
悪くなる	商店街（代表者）	・同じ商店街内でも、周辺にある大型店を利用している地元の人が多い。市場内は大変危機的状況になっている。街の中は観光土産品店が多くなり、客割れ状態を起こして大変厳しい状況に陥っている。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品生産業（管理部門）	・円高傾向と旧盆需要が見込まれる。
	変わらない	輸送業（営業・運営担当）	・外食系の店舗増により物量的には多くなるが、大きく景気が左右されるほどの物量は期待できない。さらに原油高騰は先行きがみえないため、不安材料は多い。
		広告代理店（営業担当）	・県内景気の気運は高まるようにも感じるが、現実的な受注量や販売量、媒体各社や各取引先の動向をみても、前年同月の実績をベースとした流れになる。ただし、広告ビジネスは変化の著しい業界なので、業務内容は確実に変化しており数字でみえる実績以上に人的労力の投資が拡大して、場合によっては減収傾向となる可能性もある。
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	コピーサービス業（代表者）	・印刷業は、いまやコンピュータの猛威にさらされており、今後3～4年が勝ち組・負け組に分かれる分岐点である。	
雇用	良くなる	-	-

関連	やや良くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・県内に進出している県外企業の採用活動が活発化している。また、県内企業の内々定も昨年に比べて早くなっている。さらに、県知事のグッドジョブキャンペーンで経済界の動きが活発化しており、これが今後の採用拡大につながる。最後に、観光入域者数1,000万人運動を受け、観光関連業界の採用が活発化している。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・派遣依頼の内容がより専門色を帯びたものや、高度な語学を要求するものなどが増え、対応できるスタッフの確保に時間が掛かる状況である。またこのような人材は絶対数も少なく、人材のミスマッチも出ており、契約まで少し時間が掛かる状況である。
		職業安定所（職員）	・燃料費等の値上げ、基幹産業の建設業が相変わらずの状況等の中、新規求人倍率が前月比で0.18ポイント、有効求人倍率が0.01ポイント改善しているが、情報通信業、運輸業、卸・小売業等の一時的な求人によるところで、良くなっているとも悪くなっているともいえない。
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-	-